

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年11月5日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年11月5日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5号機循環水ポンプのモータ油冷却器用冷却水配管元弁のシート漏えいについて】 当直員がタービン補機冷却系の機器点検の際、循環水ポンプのモータ油冷却器用冷却水ラインの水抜きを実施したところ、水の滴下が継続していることを確認。 調査した結果、水抜き箇所の上流側から水が入っており、循環水ポンプのモータ油冷却器用冷却水配管元弁からシート漏えいしていると判断。 運転時、当該弁は「全開」となるため系統への影響なし。 今後、当該弁の分解点検を実施予定。</p>	GⅢ	10月29日
2	<p>【1/2号ページング設備の異常について】 当直員が、免震重要棟集中監視室の監視盤にて、1/2号ページング設備(※)異常の警報発生を確認。 現場制御盤を確認した結果、ヒューズ切れおよび電源ランプの消灯を確認。 緊急放送は使用可能であり、構内での通話は保安電話等で代替可能であるため、問題なし。 ページング設備の負荷回路の異常が考えられるため、今後調査を実施予定。</p> <p>※ページング設備:構内で通話や緊急放送を行う通信設備</p>	GⅢ	11月1日
3	<p>【淡水化装置(RO3)の次亜塩素酸ナトリウム注入ポンプ出口圧力計配管接続部からのにじみについて】 当直員がパトロール時、淡水化装置(RO3)の次亜塩素酸ナトリウム注入ポンプ出口圧力計配管接続部からのにじみを確認。 出口圧力計の元弁を「閉」としにじみは停止。 ポンプの運転制御には影響がなく、ポンプの異音振動もないことから、運転継続可能と判断。 今後、にじみ箇所の修理を実施予定。</p>	GⅢ	11月1日
4	<p>【物揚場排水路 弁別型簡易放射線モニタの一時通信不可について】 当社社員が新事務本館の監視端末で測定データの更新をしようとしたところ、物揚場排水路に設置されている弁別型簡易放射線モニタの現場端末と通信が出来ず、一時的に測定データが更新されなかった。 現場の端末を再起動し、新事務本館の監視端末にて測定データの更新を確認。 Wi-Fiルータの電源ケーブルに緩みはなく、USBケーブル、USBハブの接触不良の可能性があるため、今後、対策を検討予定。 一時的に通信が出来なかった期間については、本設の簡易放射線モニタにて監視を継続しており、タンクからの漏えいがなかったこと、測定データに有意な上昇がないことを確認しているため問題なし。</p>	GⅢ	11月1日
5	<p>【雑固体廃棄物焼却設備の飲料水配管の予備取出弁ハンドル破損について】 当社社員が、雑固体廃棄物焼却設備の飲料水配管の予備取出弁ハンドルの破損を確認。 当該弁は飲料水配管の予備弁であり、通常時「閉」であることから、焼却設備の運転に影響なし。 今後、当該弁ハンドルの修理を実施予定。</p>	GⅢ	10月29日